

# 2022年12月期決算 参考資料

I サマリー情報	P.1
① 経営成績	P.1
② 財政状態	P.1
③ キャッシュ・フローの状況	P.1
④ 設備投資の状況	P.1
⑤ 非資金項目	P.1
II 2022年12月期 実績	P.2
① 損益計算書	P.2
② 製商品別売上高	P.4
③ 研究開発の状況	P.5
III 2023年12月期 業績予想	P.6
① 損益計算書	P.6
② 製商品別売上高	P.8

※ 本資料は累計期間に係る情報を掲載しており、百万円未満を切捨てして表示しております。

※ 本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績等は、様々な要素により、これらの業績見通し等とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見直しを見直すとは限りません。

2023年2月10日



鳥居薬品株式会社

# I サマリー情報

## ① 経営成績

※1 当事業年度の期首より「収益認識に関する会計基準」等を適用しております。

※2 2021年12月期実績には「収益認識に関する会計基準」等を遡及適用していないため、増減につきましては参考値です。

(単位:百万円)	2021年12月期	2022年12月期 ※1	増減	増減率 (%)	2023年12月期 予想※1	増減	増減率 (%)
	A	B	B-A	(B-A)/A	C	C-B	(C-B)/B
売上高	46,987	48,896	1,908	※2 4.1	※2 50,900	2,003	4.1
営業利益	4,656	5,540	884	19.0	4,100	△1,440	△26.0
経常利益	4,847	5,537	689	14.2	4,400	△1,137	△20.5
当期純利益	3,374	3,944	569	16.9	3,100	△844	△21.4
(参考)							
研究開発費	832	1,661	828	99.5	3,530	1,868	112.5
1株当たり当期純利益(EPS) (円)	120.13	140.39	20.26		110.33	△30.06	
自己資本当期純利益率(ROE) (%)	2.9	3.3	0.4				
総資産経常利益率 (%)	3.8	4.2	0.4				
売上高営業利益率 (%)	9.9	11.3	1.4	※2			
総資産当期純利益率(ROA) (%)	2.6	3.0	0.4				

## ② 財政状態

(単位:百万円)	2021年12月期	2022年12月期	増減	増減率 (%)
	A	B	B-A	(B-A)/A
総資産	130,810	133,689	2,878	2.2
純資産	117,015	119,224	2,209	1.9
自己資本比率 (%)	89.5	89.2	△0.3	
1株当たり純資産(BPS) (円)	4,165.38	4,243.08	77.70	

## ③ キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)	2021年12月期	2022年12月期	増減額
	A	B	B-A
営業活動によるキャッシュ・フロー	△156	2,420	2,576
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,498	△13,676	△12,178
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,546	△1,698	△151
現金及び現金同等物の期末残高	58,374	45,420	△12,954

## ④ 設備投資の状況

(単位:百万円)	2021年12月期	2022年12月期	増減額	増減率 (%)	2023年12月期 予想	増減額	増減率 (%)
	A	B	B-A	(B-A)/A	C	C-B	(C-B)/B
設備投資額	822	662	△159	△19.4	300	△362	△54.7
有形固定資産	597	504	△93	△15.6	180	△324	△64.3
無形固定資産	224	158	△66	△29.6	120	△38	△24.1

## ⑤ 非資金項目

(単位:百万円)	2021年12月期	2022年12月期	増減額	増減率 (%)	2023年12月期 予想	増減額	増減率 (%)
	A	B	B-A	(B-A)/A	C	C-B	(C-B)/B
減価償却費	413	454	41	10.0	490	35	7.8
長期前払費用償却費	722	767	45	6.2	660	△107	△14.0

## Ⅱ 2022年12月期 実績

### ① 損益計算書

※1 当事業年度の期首より「収益認識に関する会計基準」等を適用しております。

※2 2021年12月期実績には「収益認識に関する会計基準」等を遡及適用していないため、増減につきましては参考値です。

(単位:百万円)	2021年12月期	2022年12月期	増減額	増減率 (%)
	A	※1 B		
売上高	46,987	48,896	1,908 ※2	4.1 ※2
製商品売上高	46,290	48,563	2,272 ※2	4.9 ※2
腎・透析領域	13,502	12,013	△1,489 ※2	△11.0 ※2
皮膚疾患領域	11,992	12,391	399 ※2	3.3 ※2
アレルギー領域	15,971	18,499	2,528 ※2	15.8 ※2
その他	4,824	5,658	834 ※2	17.3 ※2
その他の売上高	697	332	△364 ※2	△52.3 ※2
売上原価	22,649	25,516	2,867 ※2	12.7 ※2
製商品売上原価	22,591	25,437	2,845 ※2	12.6 ※2
その他の原価	57	79	21	37.7
売上総利益	24,338	23,379	△958 ※2	△3.9 ※2
販売費及び一般管理費	19,682	17,839	△1,843 ※2	△9.4 ※2
販管費(研究開発費除く)	18,849	16,177	△2,671 ※2	△14.2 ※2
研究開発費	832	1,661	828	99.5
営業利益	4,656	5,540	884	19.0
営業外損益	191	△3	△194	
経常利益	4,847	5,537	689	14.2
特別損益	△79	185	265	
税引前当期純利益	4,767	5,722	955	20.0
法人税等	1,392	1,778	385	
当期純利益	3,374	3,944	569	16.9

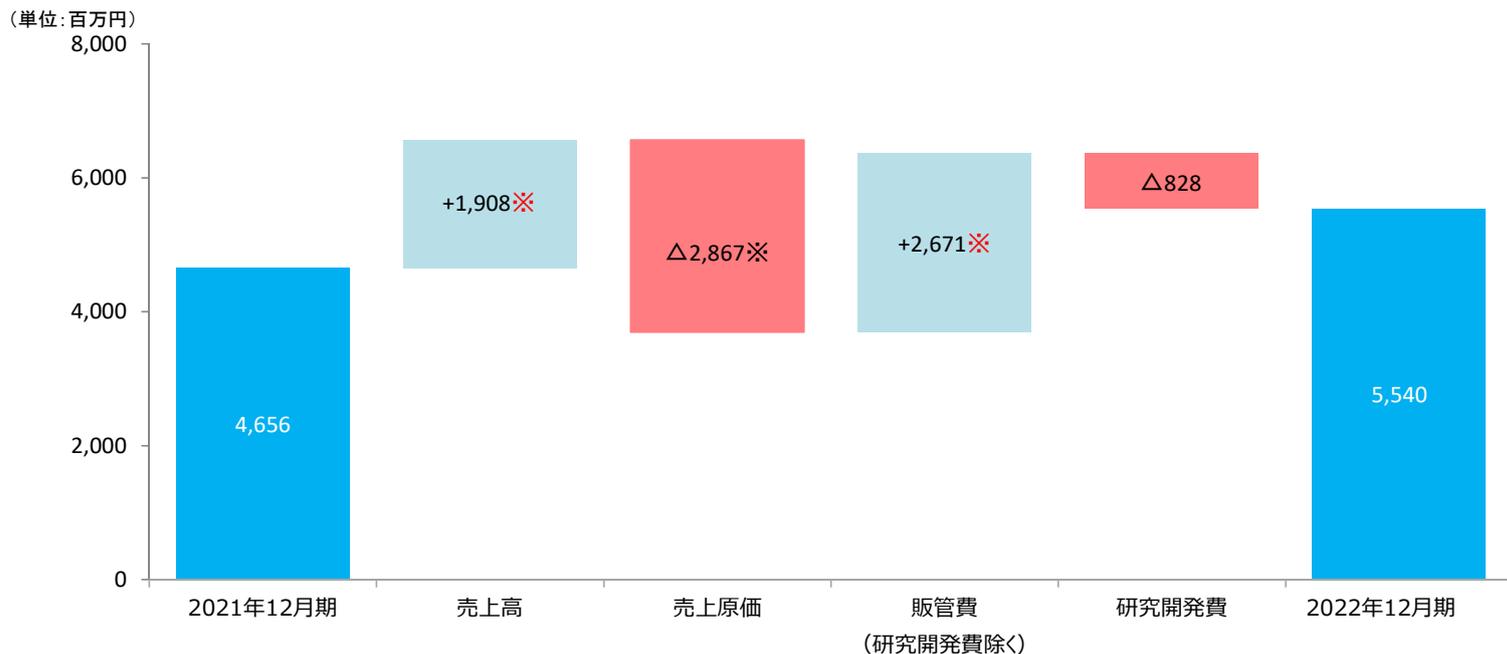
(参考) 売上高に対する比率

(単位:%)	2021年12月期	2022年12月期	増減 ※2
	A	※1 B	
売上原価	48.2	52.2	4.0
販売費及び一般管理費	41.9	36.5	△5.4
研究開発費	1.8	3.4	1.6
営業利益	9.9	11.3	1.4
経常利益	10.3	11.3	1.0
当期純利益	7.2	8.1	0.9

【対前期増減要因】

営業利益 (5,540百万円 対前期+884百万円)

✓ アレルゲン領域及びコレクチムの売上高増加により増収増益



※ 2021年12月期実績には「収益認識に関する会計基準」等を遡及適用していないため、増減につきましては参考値です。

主な増減要因	
売上高	: 販売数量の増加 (コレクチム、ミティキュア、シダキュア、オラデオ) 収益認識会計基準適用による減少 薬価改定による減少
売上原価	: 販売数量の増加 収益認識会計基準適用による増加 為替影響による増加
販管費 (研究開発費除く)	: 収益認識会計基準適用による減少 売上連動経費の増加
研究開発費	: 臨床試験費用 (TO-208) の増加 アレルゲン製品の品質改善費用の増加

経常利益 (5,537百万円 対前期+689百万円)

当期 営業外費用: 製造委託契約の解約違約金 141百万円  
 営業外費用: 円安進行による仕入債務等に係る為替差損増加 +72百万円

当期純利益 (3,944百万円 対前期+569百万円)

当期 特別利益: 政策保有株式の縮減に伴う投資有価証券売却益 187百万円

## ② 製商品別売上高

※1 当事業年度の期首より「収益認識に関する会計基準」等を適用しており、比較対象となる2021年12月期実績の収益認識基準が異なることから、製商品別の増減は記載しておりません。

※2 2021年12月期実績には「収益認識に関する会計基準」等を遡及適用していないため、増減につきましては参考値です。

(単位:百万円)	2021年12月期	2022年12月期	増減額	増減率(%)
	A	※1 B	※1 B-A	※1 (B-A)/A
製商品売上高	46,290	48,563	2,272 ※2	4.9 ※2
[腎・透析領域]				
リオナ錠	6,863	6,939	-	-
高リン血症治療剤、鉄欠乏性貧血治療剤				
レミッチ	5,058	3,536	-	-
経口そう痒症改善剤				
ケイキサレート ※3	1,525	1,230	-	-
高カリウム血症改善剤				
その他	55	306	-	-
計	13,502	12,013	△1,489 ※2	△11.0 ※2
[皮膚疾患領域]				
コレクチム軟膏	4,025	5,469	-	-
外用ヤヌスキナーゼ (JAK) 阻害剤				
アンテベート ※3	4,825	3,995	-	-
外用副腎皮質ホルモン剤				
ロコイド ※3	1,698	1,476	-	-
外用副腎皮質ホルモン剤				
ゼフナート	1,043	1,091	-	-
抗真菌薬				
その他	398	358	-	-
計	11,992	12,391	399 ※2	3.3 ※2
[アレルギー領域]				
シダキユア スギ花粉舌下錠 ※3	8,325	9,608	-	-
スギ花粉症のアレルゲン免疫療法薬				
ミティキュア ダニ舌下錠 ※3	7,386	8,694	-	-
ダニアレルギーのアレルゲン免疫療法薬				
その他	258	196	-	-
計	15,971	18,499	2,528 ※2	15.8 ※2
[その他]				
ビオスリー	3,213	3,361	-	-
活性生菌製剤(整腸剤)				
オラデオカプセル ※4	399	1,313	-	-
血漿カリクレイン阻害剤				
その他	1,211	983	-	-
計	4,824	5,658	834 ※2	17.3 ※2

※3 自社品

※4 「オラデオカプセル」は2021年4月より販売しております。

(参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位:百万円)	2021年12月期	2022年12月期	増減	増減率(%)
	A	※1 B	※1 B-A	※1 (B-A)/A
自社品売上高	24,843	25,933	-	-
自社品比率 (%)	53.7	53.4	-	-

### ③ 研究開発の状況

開発番号 「製品名」	予定適応症等	剤形等	開発段階（国内）					備考
			Phase I	Phase II	Phase III	申請	承認	
<b>皮膚疾患領域</b>								
JTE-061	アトピー性皮膚炎	外用剤			Phase III			<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本たばこ産業(株)がDermavant Sciences GmbHと日本国内における皮膚疾患領域での独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結した化合物</li> <li>・日本たばこ産業(株)と日本国内における共同開発及び販売に関するライセンス契約を締結</li> </ul>
	尋常性乾癬	外用剤			Phase III			<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本たばこ産業(株)がDermavant Sciences GmbHと日本国内における皮膚疾患領域での独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結した化合物</li> <li>・日本たばこ産業(株)と日本国内における共同開発及び販売に関するライセンス契約を締結</li> </ul>
	小児アトピー性皮膚炎	外用剤			Phase II			<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本たばこ産業(株)がDermavant Sciences GmbHと日本国内における皮膚疾患領域での独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結した化合物</li> <li>・日本たばこ産業(株)と日本国内における共同開発及び販売に関するライセンス契約を締結</li> </ul>
TO-208	伝染性軟属腫	外用剤			Phase III			<ul style="list-style-type: none"> <li>・Verrica Pharmaceuticals Inc.と日本国内における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結</li> <li>・自社開発</li> <li>・Verrica Pharmaceuticals Inc. 開発番号:VP-102</li> </ul>
<b>アレルギー領域</b>								
TO-203 「ミティキュア® ダニ舌下錠」	室内塵ダニアレルギー疾患 (アレルギー性喘息) (アレルギー免疫療法薬)	舌下錠			Phase II/Ⅲ終了※			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALK-Abelló A/Sと日本国内における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結</li> <li>・自社開発</li> <li>※今後の開発方針について検討中</li> </ul>

前回公表時（2022年10月31日）からの変更点

- ・2023年1月 日本たばこ産業(株)によるJTE-052「コレクテム®軟膏」（乳幼児アトピー性皮膚炎）の日本国内における第Ⅲ相臨床試験の結果に基づき添付文書改訂（前回公表時：開発段階「PhaseⅢ」）

上記のほか、以下の契約を締結しております。

- ・2023年1月 Nogra Pharma Limitedとの間で、同社が開発を進めてきた尋常性ざ瘡治療薬（NAC-GED-0507）の日本国内における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結

当社の親会社である日本たばこ産業(株)（うち医薬事業部門）とは、医薬品に関する製品及びサービスにおいて、各々の強みを生かし、当社は主に製造と販売の機能を担っており、親会社は研究開発の機能を担っております。なお、親会社の研究開発の状況は、日本たばこ産業(株)ウェブサイト上の「医療用医薬品臨床開発状況」をご参照ください。

<https://www.jti.co.jp/investors/library/business/briefing/index.html>

### Ⅲ 2023年12月期 業績予想

#### ① 損益計算書

(単位:百万円)	2022年12月期	2023年12月期	増減額	増減率 (%)
	実績	予想		
	A	B	B-A	(B-A)/A
売上高	48,896	50,900	2,003	4.1
製商品売上高	48,563	50,600	2,036	4.2
腎・透析領域	12,013	10,850	△1,163	△9.7
皮膚疾患領域	12,391	13,130	738	6.0
アレルギー領域	18,499	20,360	1,860	10.1
その他	5,658	6,260	601	10.6
その他の売上高	332	300	△32	△9.9
売上原価	25,516	26,800	1,283	5.0
売上総利益	23,379	24,100	720	3.1
販売費及び一般管理費	17,839	20,000	2,160	12.1
販管費(研究開発費除く)	16,177	16,470	292	1.8
研究開発費	1,661	3,530	1,868	112.5
営業利益	5,540	4,100	△1,440	△26.0
経常利益	5,537	4,400	△1,137	△20.5
当期純利益	3,944	3,100	△844	△21.4

(参考) 売上高に対する比率

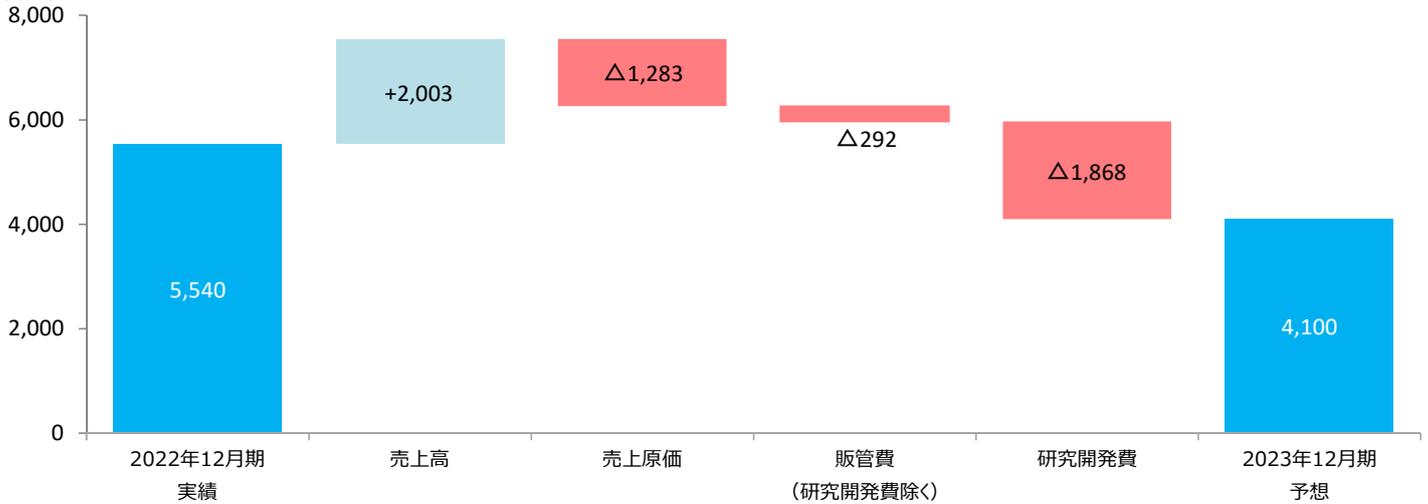
(単位:%)	2022年12月期	2023年12月期	増減
	実績	予想	
	A	B	B-A
売上原価	52.2	52.7	0.5
販売費及び一般管理費	36.5	39.2	2.7
研究開発費	3.4	6.9	3.5
営業利益	11.3	8.1	△3.2
経常利益	11.3	8.6	△2.7
当期純利益	8.1	6.1	△2.0

【対前期実績増減要因】

営業利益（4,100百万円 対前期実績△1,440百万円）

✓ アレルゲン領域及びコレクチムの売上高増加も、研究開発費増加により増収減益の見込

(単位:百万円)



主な増減要因 (億円未満切捨て)

売上高	腎・透析領域 : 減収△11億円	レミッチ△9億円 (後発品及び薬価改定の影響)
	皮膚疾患領域 : 増収+ 7億円	コレクチム+ 13億円 (販売数量の増)
	アレルゲン領域 : 増収+ 18億円	ミティキュア+ 11億円、シダキュア+ 7億円 (販売数量の増)
	その他 : 増収+ 6億円	オラデオ+ 5億円 (販売数量の増)
売上原価	: 販売数量の増加 製造委託単価の増加 為替影響による増加	
販管費 (研究開発費除く)	: 売上連動経費の増加 モバイル通信機器更新等の一過性費用の発生 コントラクトMRの減少	
研究開発費	: Nogra Pharma Limitedとのライセンス契約に伴う一時金支払による増加 臨床試験費用 (TO-208) の増加	

経常利益（4,400百万円 対前期実績△1,137百万円）

前期	営業外費用：製造委託契約の解約違約金	141百万円
前期	営業外費用：円安進行による仕入債務等に係る為替差損	132百万円

当期純利益（3,100百万円 対前期実績△844百万円）

前期	特別利益：政策保有株式の縮減に伴う投資有価証券売却益	187百万円
----	----------------------------	--------

## ② 製商品別売上高

(単位: 百万円)	2022年12月期	2023年12月期	増減額	増減率 (%)
	実績	予想		
	A	B		
製商品売上高	48,563	50,600	2,036	4.2
[腎・透析領域]				
リオナ錠	6,939	6,630	△309	△4.5
高リン血症治療剤、鉄欠乏性貧血治療剤				
レミッチ	3,536	2,630	△906	△25.6
経口そう痒症改善剤				
ケイキサレート ※	1,230	1,030	△200	△16.3
高カルウム血症改善剤				
その他	306	560	253	82.7
計	12,013	10,850	△1,163	△9.7
[皮膚疾患領域]				
コレクチム軟膏	5,469	6,850	1,380	25.2
外用ヤヌスキナーゼ (JAK) 阻害剤				
アンテベート ※	3,995	3,900	△95	△2.4
外用副腎皮質ホルモン剤				
ロコイド ※	1,476	1,350	△126	△8.6
外用副腎皮質ホルモン剤				
ゼフナート	1,091	1,030	△61	△5.6
抗真菌薬				
その他	358	—	△358	△100.0
計	12,391	13,130	738	6.0
[アレルギー領域]				
シダキュア スギ花粉舌下錠 ※	9,608	10,390	781	8.1
スギ花粉症のアレルゲン免疫療法薬				
ミティキュア ダニ舌下錠 ※	8,694	9,800	1,105	12.7
ダニアレルギーのアレルゲン免疫療法薬				
その他	196	170	△26	△13.6
計	18,499	20,360	1,860	10.1
[その他]				
ビオスリー	3,361	3,510	148	4.4
活性生菌製剤(整腸剤)				
オラデオカプセル	1,313	1,880	566	43.1
血漿カリクレイン阻害剤				
その他	983	870	△113	△11.5
計	5,658	6,260	601	10.6

※ 自社品

(参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位: 百万円)	2022年12月期	2023年12月期	増減	増減率 (%)
	実績	予想		
	A	B		
自社品売上高	25,933	27,300	1,366	5.3
自社品比率	(%)	53.4	54.0	0.6